

大家教授とアクロス公開講座と私

張 国 興

一九九四年四月、東京から久留米大学法学部に単身赴任した私は、学部長室で中川原徳仁学部長と大家重夫教授にお会いしました。大家先生とは、初対面ですが、三人とも東京生活経験者という共通項がありました。

大家先生の法学部長時代、私達は福岡天神で久留米大学を囲む必要性を強く感じました。一九九七年十一月、福岡ガーデンパレスで「地元企業と大学との就職懇談会」を行い、私は「台湾学生の就職事情」について報告しました。同年一二月には、同ホテルで「久留米大学法学部創設一〇周年記念文化講演会」を開催し、私は「台湾と日米安保」のテーマで講演をしました。大家先生のご尽力で毎日新聞社と共催する形をとり、講演会もその後の記念パーティーも盛会でした。久留米大学福岡サテライト講座は原則としてアクロスで行われていましたが、大家先生のご発案で二〇〇〇年九月、城山ホテルで私が「最近の台湾情況と頑張れ日本」について述べました。二〇〇一年九月一〇月にアクロス福岡で連続三回の「英語で台湾を知る」講座を担当しました。同年十一月、久留米大学福岡サテライト（アクロス）で「台湾研究会」を立ち上げ、会員が五〇名を超えたので、それ以降、同研究会は二ヶ月に一回のペースで市民センターを借りて勉強会を続けるようになりました。

資 料

また大家先生の学部長時代に、税法がご専門の凶子善信教授と高裁判事を歴任された東孝行教授を迎えられたことは、法学部にとって頗る良かったと思います。大家先生のお陰で台湾の著作権法の権威である蕭雄淋弁護士と知り合うことができました。改めて感謝の意を表します。

次の付録は、大家先生が二〇〇〇年以降、各年度毎に作成されたアクロス公開講座の予定表です。先生の許可を得て、ここに掲げます。

付録・歴年の福岡サテライト文化講座の日程表

二〇〇〇年度久留米大学・福岡サテライト文化講座予定表

演題	講演者	所属	日	時	会場
第一回 変化への対応	福地 茂雄	アサヒビル社長	八月四日(金)	六:〇〇~七:三〇	全日空ホテル
第二回 川上晋次郎―九州魂の具現者	倉田 喜弘	芸能史家	九月四日(月)	五:〇〇~六:三〇	アクロス西7階
第三回 最近の台湾の状況―今夏を過ごして	張 国興	久留米大学教授	九月二日(月)	三:三〇~五:〇〇	城山ホテル九階ホール
第四回 英語教育の変遷―その経験を二一世紀に	古賀 範理	久留米大学教授	九月九日(火)	五:〇〇~六:三〇	博多エクセルホテル東急二階
第五回 久留米藩士の末裔・作家広津和郎―その執拗な行動力はどこから生まれたか	江頭 肇 (松原 新一)	久留米大学文学部教授	九月五日(金)	五:〇〇~六:三〇	アクロス西6階六七号
第六回 万葉集を読む(一)	鶴 久	久留米大学教授	一〇月三日(火)	五:〇〇~六:三〇	アクロス東五階
第七回 高齢者の知的低下予防と生き方	原岡 一馬	久留米大学教授	一〇月〇日(水)	三:三〇~五:〇〇	アクロス東五階
第八回 万葉集を読む(二)	鶴 久	久留米大学教授	一〇月七日(火)	五:〇〇~六:三〇	アクロス東五階
第九回 児童虐待の諸問題	宮津 浩	久留米大学講師	一〇月三日(火)	三:三〇~五:〇〇	アクロス東五階
第十回 万葉集を読む(三)	鶴 久	久留米大学教授	一〇月七日(火)	五:〇〇~六:三〇	アクロス東五階
第二回 現代とはどんな時代か―社会学者の視点	鈴木 廣	久留米大学教授	一〇月六日(火)	五:〇〇~六:三〇	アクロス東五階
第三回 紛争と戦略の間―国際政治のゲーム理論	荒井 功	久留米大学法学部教授	一〇月〇日(水)	三:三〇~五:〇〇	アクロス東五階
第三回 パソコンを用いた金融分析	原田 康平	久留米大学経済学部教授	二〇月三日(月)	三:三〇~五:〇〇	アクロス東五階
第四回 万葉集を読む(四)	鶴 久	久留米大学教授	二〇月四日(火)	五:〇〇~六:三〇	アクロス東五階
第五回 会社法根本改正の動向について	上村 達男	早稲田大学法学部教授	二〇月四日(火)	五:〇〇~六:三〇	アクロス東五階
第六回 韓国経済―もう一つの顔	桜井 浩	久留米大学経済学部教授	二〇月七日(月)	五:〇〇~六:三〇	アクロス東五階
第七回 朝鮮(韓)半島の緊張緩和と経済発展	大隈 暉	久留米大学非常勤講師	二〇月六日(火)	三:三〇~六:〇〇	アクロス東五階

第八回	万葉集を読む(五)	鶴久	久留米大学教授	二月四日(火) 五〇〇―六三〇	アクロス東五階
第九回	松岡洋右の思想と外交	森茂樹	久留米大学法学部教授	三月四日(月) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第三回	規制緩和と競争政策	細田孝一	公正取引委員会事務局国際課長	三月八日(金) 五〇〇―六三〇	アクロス東五階
第三回	万葉集を読む(六・最終回)	鶴久	久留米大学教授	三月三日(火) 五〇〇―六三〇	アクロス東五階
第三回	昭和天皇の素顔―侍従としてお仕えして	中村賢二郎	久留米大学非常勤講師 ・別府大学学長・元昭和天皇侍従	三月四日(木) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第三回	民事判決の読み方	東孝行	久留米大学法学部教授 (前・広島高裁判事)	三月八日(月) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第四回	ウクライナの印象―リヴィエラに一年間暮らして―	阿部三樹夫	久留米大学法学部助教授	三月九日(火) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第五回	ネット時代の教育改革	森正直	久留米大学経済学部教授 (元・文部省主任視学官、 高等教育課長、国語課長)	三月五日(月) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第六回	近代実証史学の祖、久米邦武―「米欧回覧実記」と古文書学	杉谷昭	久留米大学教授	一月六日(土) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第七回	キャッシュ・フロー計画書をめぐる諸問題	由井敏範	久留米大学教授	一月九日(火) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第六回	開発途上国への援助の在り方	古賀幸久	久留米大学法学部助教授 (外務省・パキスタン大使館等勤務 イスラム法担当)	一月三日(金) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第五回	イギリス経済はどう変わったか ―サッチャーからブレアまで	中村靖志	久留米大学教授	一月九日(金) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第三回	中央分権時代のまちづくり―体験的地方自治論 (シンポジウム)	山崎広太郎 塩塚公一ほか	福岡市長 久留米大学非常勤講師・前大牟田市長	一月六日(金) 三三〇―五〇〇	アクロス東五階
第三回	九州独立論を考える―ポスト近代の国づくり (シンポジウム)	駄田井正、他	久留米大学経済学部長	二月二日(金) 一八〇―三〇〇	アクロス西六階

二〇二一年度 久留米大学・福岡サテライト文化講座予定表

演題	講演者	所属	日時	会場
第一回 ゆとり・ユーモア・帰りは元気―歌謡番組の舞台裏	宮本隆治 (リュウジ)	ZENONアナウンサー室	五月六日(水) 五〇〇―六三〇	天神四―八―五 福岡ガードンパレス (空一七三―二二) 三階 天満の間、五時から三階 阿蘇の間で「懇親パーティー」会費要〇〇円。
第二回 若者よ海外をめざせ―東チモールにて考える	古野喜政	元・毎日新聞常務取締役 ・大阪外国語大学講師 ・ユニセフ協会大阪代表	五月五日(金) 五〇〇―六三〇	アクロス福岡東五階
第三回 万葉集を読む 第一回	鶴久	文学部教授	五月六日(土) 四〇〇―五三〇	アクロス福岡東五階

大家教授とアクロス公開講座と私（張）

第四回	たのしい不便の哲学	福岡 賢正	毎日新聞 学芸部	五月五日（火）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第五回	公正取引委員会の当面の諸問題	根来 泰周	公正取引委員会委員長	六月二日（土）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡大会議室七階
第六回	二一世紀の実用英語 一回	ロイヤス・テイモシー (Leung Timothy)	外国人教師	六月五日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第七回	二一世紀の実用英語 二回	ロイヤス・テイモシー (Leung Timothy)	外国人教師	六月三日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第八回	二一世紀の実用英語 三回	ロイヤス・テイモシー (Leung Timothy)	外国人教師	六月九日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第九回	万葉集を読む 第二回	鶴 久	文学部教授	六月三日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第二〇回	九州の現在と未来	田中 浩二	九州社長	七月六日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡西六階
第二一回	二一世紀の実用英語 四回	ロイヤス・テイモシー (Leung Timothy)	外国人教師	七月六日（金）六〇〇～七〇〇	アクロス福岡東五階
第二二回	万葉集を読む 第三回	鶴 久	文学部教授	七月六日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第二三回	ラーメンの文化経済学	奥山 忠政	評論家・久留米大学大学院〇〇	八月一日（水）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第二四回	九州の電力事情と自由化	鎌田 迪貞	九電社長	八月二日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡西六階
第二五回	点描―九州の地域づくり―分権の時代の担い手たち	松永 年夫	西日本新聞社 営業本部総合プロジェクト室長	八月二日（月）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第二六回	万葉集を読む 第四回	鶴 久	文学部教授	八月五日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第二七回	テレビの向こう側―電波にのらないちよつといい話	古賀ゆきひと	放送	九月一日（土）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第二八回	人生を自分でどう創るか	木元 教子	評論家・ジャーナリスト	九月五日（水）五〇〇～六〇〇	福岡ガーデンパレス 三階宝満
第二九回	英語で台湾を知る 第一回	張 国興	法学部教授	九月八日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第三〇回	英語で台湾を知る 第二回	張 国興	法学部教授	九月五日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第三一回	福岡のフランス人―ルイヨ氏の小説について	岩田 好司	外国語研究所助教	九月三日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第三二回	万葉集を読む 第五回	鶴 久	文学部教授	九月五日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第三三回	政治亡命と日本	色摩(シカマ)力夫	評論家・元チリ大使	九月五日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第三四回	英語で台湾を知る 第三回	張 国興	法学部教授	九月六日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第三五回	万葉集を読む 第六回	鶴 久	文学部教授	九月七日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第三六回	地域経営とマーケティング	吉田 潔	アジアビジネスセンター総合研究所常務 ・本学非常勤講師	九月二日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第三七回	現代経営思想の進化とその文化的背景	福永文美夫	商学部助教	九月九日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第三八回	万葉集を読む 第七回	鶴 久	文学部助教	九月二日（土）四〇〇～五〇〇	アクロス福岡東五階
第三九回	中国現代映画の魅力	与小田隆一	文学部助教	九月三日（金）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階
第四〇回	ロ・エロレンスの生命観と現代日本	飯田 武郎	文学部教授	九月三日（土）五〇〇～六〇〇	アクロス福岡東五階

第三回	万葉集を読む 第八回	鶴久	文学部教授	三月五日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス福岡東五階
第三回	ジェンダー教育について ―「ジェンダーと法」講義五年の経験から	吉村 眸	法学部教授	一月〇日(木) 四〇〇〜五〇〇	アクロス福岡東五階
第三回	万葉集を読む 第九回	鶴久	文学部教授	一月三日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス福岡東五階
第三回	老子の思想と中国古代の医学者たち	福田 殖	文学部教授	一月六日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス福岡東五階
第三回				二月三日(金)	
第三回	万葉集を読む 第一〇回	鶴久	文学部教授	二月三日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス福岡東五階
第三回	子どもの育成と権利―子どもはどうか育つべきなのか	宗岡 嗣郎	法学部教授	二月七日(水) 四〇〇〜五〇〇	アクロス福岡東五階
第三回	高麗時代の対外認識	桑野 栄治	文学部助教授	三月二日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス福岡東五階
第三回	地方の財政と政治	塩塚 公一	非常勤講師・前大牟田市長	三月九日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス福岡東五階
第三回	一九四一年の日米開戦を再考する	森 茂樹	法学部助教授	三月六日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス福岡東五階

二〇〇二年度 久留米大学・福岡サテライト文化講座予定表

第一回	「変える勇氣」と「変えない勇氣」	演 題	福地 茂雄	講演者	アサヒビル会長	所属	五月八日(土) 五〇〇〜六〇〇	日時	博多エクセルホテル 東急二階 講師を囲む会、会費 三〇〇円。 博多エクセルホテル 東急(中洲四丁目六 番七号 五丁五二〇九二階 議室	会場
第二回	陽明学と日本		山下 龍二		名古屋大学名誉教授		五月三日(木) 五〇〇〜七〇〇		アクロス西七階大会 議室	
第三回	万葉集を読む(第一回)		鶴久		久留米大学文学部客員教授		五月五日(土) 四〇〇〜五〇〇		アクロス東五階	
第四回	高齢者・女性とまちづくり		保坂恵美子		久留米大学文学部教授		六月一日(土) 三〇〇〜四〇〇		高宮駅前・福岡市女 性センター アミカ ス四階	
	インド女性事情		アーミン・ モージェイ		「あしたの会・インド」会長、 桜美林大学客員教授、 インド・プネ市在住		五月三〇日(土) 三〇〇〜六〇〇		同右	
第五回	日本企業にみる女性の役割 ―日本の組織の破壊と再生		徳増 典洪 (フミヒロ)		久留米大学商学部教授		六月三日(月) 五〇〇〜六〇〇		アクロス東五階	
第六回	地域づくりとコミュニティビジネス		濱砂 圭子		(株)フラウ社長		六月六日(木) 五〇〇〜六〇〇		アクロス東五階	
第七回	産業とアジア		米澤 聡士		久留米大学商学部助教授		六月七日(金) 五〇〇〜六〇〇		アクロス東五階	

資 料

大家教授とアクロス公開講座と私 (張)

第八回	九州から見た環黄海圏(環黄海圏シリーズ第一回)	駄田井 正	久留米大学経済学部教授	六月八日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第九回	南国への誘いー沖繩シマ社会を探る	堂前 亮平	久留米大学文学部教授	六月二〇日(木) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第二〇回	万葉集を読む(第二回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	六月元日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス東五階
第二回	不況にどう立ち向かうか	薮(シトミ)章	ふく鯨本舗三太郎	七月五日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	筑後の明治維新ー柳川藩最後の家老・立花玄岐の志	河村 哲夫	郷土史家(前・福岡県調査統計課長)	七月六日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	睡眠と心の健康	福山 裕夫	久留米大学文学部講師	七月三日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第五回	韓国から見た環黄海圏(環黄海圏シリーズ第二回)	朴 光淳	久留米大学経済学部教授	七月三日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第六回	パキスタンから見たアフガニスタン	古賀 幸久	久留米大学法学部助教授	七月三日(月) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第七回	万葉集を読む(第三回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	七月三日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス東五階
第八回	ホラー映画の文化比較	武本 テイモシ	久留米大学外国語研究所・外国人教師	八月九日(月) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第九回	これからの情報産業についてー生き残りの戦略	富田 峰雄	久留米大学外国語研究所	八月三日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第十回	万葉集を読む(第四回)	鶴 久	(株)田〇社長	八月三日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス東五階
第十一回	中国から見た環黄海圏(環黄海圏シリーズ第三回)	陳 建安	久留米大学文学部客員教授	八月三日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス東五階
第十二回	地域経営とマーケティング	吉田 潔	久留米大学経済学部客員教授	八月三日(土) 六〇〇〜七〇〇	アクロス東五階
第十三回	和菓子老舗店の新戦略	石村 善悟	久留米大学文学部客員教授	九月三日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第十四回	万葉集を読む(第五回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	九月三日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第十五回	明治六年の政変異聞ー桐野利秋開書	杉谷 昭	久留米大学文学部特任教授	九月六日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第十六回	シンポジウム環黄海圏(環黄海圏シリーズ第四回)	駄田井 正	久留米大学文学部特任教授	九月六日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第十七回	アフガン戦争と戦争国際法	小川 光淳	久留米大学経済学部教授	九月三日(土) 五〇〇〜七〇〇	都久志会館四階 四〇二室
第十八回	アル・カイダ兵に捕虜の資格が認められるか	色麻(シカマ)力夫	元チリ大使・外交評論家	〇月八日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第十九回	万葉集を読む(第六回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	〇月六日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス東五階
第二十回	最近の台湾の政治と経済	張 国興	久留米大学文学部教授	二月一日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第二十一回	東アジアの国際関係を考える	岬 暁夫	埼玉大学名誉教授	二月二日(月) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第二十二回	ロシアの学者事情ーロシアの科学者を活用せよ	金 享沫	久留米大学商学部講師	二月三日(金) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第二十三回	日本と韓国の流通事情	村井 正隆	ムライケミカルパック(株)社長	二月三日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス東五階
第二十四回	日米の小売業と比較視点から	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	二月三日(土) 四〇〇〜五〇〇	アクロス東五階
第二十五回	日韓関係についてー八人の大統領あれこれ	大家 重夫	久留米大学法学部教授	二月五日(月) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第二十六回	万葉集を読む(第七回)	西尾林 太郎	愛知淑徳大学教授	二月五日(月) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第二十七回	著作権法学者としての水野鍊太郎	水野 政一	元フジテレビ報道部	二月五日(月) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第二十八回	大正の官僚政治家 水野鍊太郎		(財)日本美術協会事務総長	二月五日(月) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第二十九回	原敬と床次竹二郎との関わりで				
第三十回	祖父水野鍊太郎ーその生きた時代「明治」				

第三回	柳川市出身の国文学者藤村作先生と「偲ぶ会」 祖父藤村作と父近藤忠義の生きた時代	牧野 蒼子 近藤 創	藤村作研究家 歴史学者	二月三日(土) 五〇〇―一六〇〇 一六〇〇―一七〇〇	アクロス東五階 アクロス東五階
第四回	長崎市出身の作家 佐多 稲子	江頭 肇 (松原 新一)	久留米大学文学部教授	三月六日(金) 五〇〇―一六〇〇	アクロス東五階
第五回	スライドでみるドイツ中世都市「ニュルンベルク」	中西 吉則	久留米大学文学部教授	三月七日(土) 五〇〇―一六〇〇	アクロス東五階
第六回	オペラになった明治の長崎 ―ミカド、ゲイシャ、蝶々夫人	倉田 喜弘	芸能史家	三月十日(火) 五〇〇―一六〇〇	アクロス東五階
第七回	マネジメント思想の進化 ―古代ギリシヤ・ローマ時代から二一世紀まで	福永文美夫	久留米大学商学部助教授	三月十三日(金) 五〇〇―一六〇〇	アクロス東五階
第八回	万葉集を読む(第八回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	三月二十三日(土) 二四〇〇―一五〇〇	アクロス東五階
第九回	熊本出身の宰相清浦奎吾と大正デモクラシー	有谷三樹彦	久留米大学法学部非常勤講師	三月三十日(金) 二五〇〇―一六〇〇	アクロス東五階
第十回	万葉集を読む(第九回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	四月六日(土) 二四〇〇―一五〇〇	アクロス東五階
第十一回	万葉集を読む(第一〇回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	四月十三日(土) 二四〇〇―一五〇〇	アクロス東五階
第十二回	柳川市出身のマルクス主義哲学者広松渉	松尾 匡	久留米大学経済学部助教授	四月二十日(金) 二五〇〇―一六〇〇	アクロス東五階
第十三回	万葉集を読む(第一一回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	四月二十七日(土) 二四〇〇―一五〇〇	アクロス東五階
第十四回	小都市出身の赤十字思想実践の幕医高松凌雲	高松 基助	久留米大学法学部教授	五月四日(月) 二五〇〇―一六〇〇	アクロス東五階
第十五回	福岡市出身の広田弘毅首相と東京裁判	森 茂樹	久留米大学法学部助教授	五月十一日(土) 二五〇〇―一六〇〇	アクロス東五階
第十六回	万葉集を読む(第一二回)	鶴 久	久留米大学文学部客員教授	五月十八日(土) 二四〇〇―一五〇〇	アクロス東五階

二〇三年度 久留米大学・福岡サテライト文化講座予定表

第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回	第七回
音楽著作権ビジネスの現場から	音楽著作権ビジネスの現場から	日本の映画を見よう	世界経済の新しい動向と日本	民法学の基礎にあるもの	私の研究遍歴―市民法と社会法―	中国文学六〇年―波瀾万丈の研究生活―
津崎 宏昭	津崎 宏昭	寺脇 研	木下 悦二	原島 重義	林 迪廣	岡村 繁
日本音楽著作権協会 九州支部長	日本音楽著作権協会 九州支部長	文化庁 文化部長	元久留米大学経済学部長 九州大学名誉教授	元久留米大学法学部教授 九州大学名誉教授	元久留米大学法学部部長 九州大学名誉教授	元久留米大学文学部部長 九州大学名誉教授
五月十四日(土) 二五〇〇―一六〇〇	五月十四日(土) 二五〇〇―一六〇〇	六月七日(土) 二五〇〇―一六〇〇	六月九日(月) 二五〇〇―一六〇〇	六月十日(火) 二五〇〇―一六〇〇	六月十二日(水) 二五〇〇―一六〇〇	六月十三日(金) 二五〇〇―一六〇〇
博多エクセルホテル 東急二階舞鶴の間	博多エクセルホテル 東急二階舞鶴の間	西鉄グランドホテル 二階真珠の間	アクロス東五階	アクロス東五階	アクロス東五階	アクロス東五階

資料

大家教授とアクロス公開講座と私 (張)

第八回	福岡市出身の外交官廣田弘毅と東京裁判	森 茂樹	久留米大学法学部助教	六月四日 (土) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第九回	二一世紀の国際紛争	中川原徳仁	久留米大学法学部特任教授	六月三日 (金) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第二〇回	万葉集を読む①	鶴 久	久留米大学客員教授	六月六日 (土) 三〇〇〇〜四二〇〇	アクロス東五階
第二回	日本の難民政策	黒木 忠正	元東京入国管理局長 元内閣審議官	七月一日 (火) 四〇〇〇〜五二〇〇	アクロス東五階
第三回	ジェンダー① ジェンダーと法	吉村 眸	久留米大学法学部教授	七月三日 (土) 三〇〇〇〜四二〇〇	アクロス東五階
第三回	ストレス時代の「ころ」の健康学 ―しなやかな適応を求めて―	津田 彰	久留米大学文学部教授	七月四日 (月) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第二四回	ジェンダー② ジェンダーと心理学	園田 直子	久留米大学文学部助教	七月五日 (土) 三〇〇〇〜四二〇〇	アクロス東五階
第二五回	ジェンダー③ ジェンダーと歴史	富永 桂子	久留米大学・大学院非常勤講師	七月五日 (土) 四〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第二六回	中国と知的財産権問題	日高 賢治	日本貿易振興会北京代表処 知的財産権室長	七月三日 (火) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第二七回	欧州統合の現在	児玉 昌巳	久留米大学法学部教授	七月五日 (金) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第二八回	万葉集を読む②	鶴 久	久留米大学客員教授	七月六日 (土) 三〇〇〇〜四二〇〇	アクロス東五階
第二九回	ジェンダー④ ジェンダーと家族―日米比較―	キヤスリーン・ブラウン	久留米大学外国人教師	七月六日 (土) 五〇〇〇〜七二〇〇	アクロス東五階
第三〇回	九州の観光と鉄道	田中 浩二	九州旅客鉄道株式会社 会長	八月一日 (金) 五〇〇〇〜六二〇〇	博多エクセルホテル 東急二階舞鶴の間
第三回	ジェンダー⑤ ジェンダーと労働	松尾 匡	久留米大学経済学部助教	八月二日 (土) 三〇〇〇〜四二〇〇	アクロス東五階
第三回	ジェンダー⑥ 少子高齢化とジェンダー	保坂恵美子	久留米大学文学部教授	八月二日 (土) 四〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第三回	ジェンダー⑦ 福祉国家とジェンダー	益村眞知子	九州産業大学経済学部教授 (久留米大学非常勤講師)	八月九日 (土) 三〇〇〇〜四二〇〇	アクロス東五階
第二四回	ジェンダー⑧ 東南アジアの経済とジェンダー	野北 晴子	広島経済大学経済学部助教 (久留米大学非常勤講師)	八月九日 (土) 四〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第二五回	久留米大学法科大学院について	宗岡 嗣郎	久留米大学法学部教授 (法学部長)	八月六日 (土) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第二六回	久留米大学法科大学院の講義内容	東 孝行ほか	久留米大学法学部教授	八月六日 (土) 五〇〇〇〜七二〇〇	アクロス東五階
第二七回	ジェンダー⑨ イスラムにおける女性の地位	古賀 幸久	久留米大学法学部助教	八月三日 (土) 三〇〇〇〜四二〇〇	アクロス東五階
第二八回	ジェンダー⑩ ジェンダーとホラー	武本ティモシー	久留米大学非常勤講師	八月三日 (土) 四〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第二九回	万葉集を読む③	鶴 久	久留米大学客員教授	八月三日 (土) 三〇〇〇〜四二〇〇	アクロス東五階
第三〇回	明治六年の政変・異聞―西郷隆盛からの開書―	杉谷 昭	久留米大学文学部特任教授	九月一日 (月) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第三回	大木喬任の人と業績	島内 嘉市	郷土史家	九月五日 (金) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第三回	神功皇后と北部九州―神功皇后は実在したか―	河村 哲夫	郷土史家 (財)アクロス福岡 管理部長	九月五日 (水) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第三回	倭国と百濟	兼川 晋	古代史研究家	九月三日 (金) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階
第三四回	九州出身の作家	江頭 肇 (筆名:松原新一)	久留米大学文学部教授	九月六日 (火) 五〇〇〇〜六二〇〇	アクロス東五階

資料

第三回	マネジメント思想の進化① ―古代ギリシャ・ローマから二世紀まで―	福永文美夫	久留米大学商学部教授	九月六日(金) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第三回	万葉集を読む④	鶴久	久留米大学客員教授	九月七日(土) 三〇〇―一四三〇	アクロス東五階
第三回	マネジメント思想の進化② ―古代ギリシャ・ローマから二世紀まで―	福永文美夫	久留米大学商学部教授	九月三日(金) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第三回	企業の人事労働問題	上田 眞士	久留米大学商学部助教授	九月六日(月) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第三回	西鉄の今後の展開	島谷 尚利	西日本鉄道(株) 副社長	九月八日(水) 五〇〇―一六三〇	博多エクセルホテル 東急二階舞鶴の間
第四回	連結ベースでの配当金の計算は可能か ―連結納税制度の導入に関連して―	金田堅太郎	久留米大学商学部講師	九月六日(木) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第四回	二世紀の博物館のあるべき姿	森 醇一朗	久留米大学客員教授 前名古屋城博物館長	九月八日(土) 三〇〇―一四三〇	アクロス東五階
第四回	新構想博物館を目指して ―九州国立博物館―	三輪 嘉六	文化庁・九州国立博物館 (仮称)設立準備室長	九月八日(土) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第四回	万葉集を読む⑤	鶴久	久留米大学客員教授	九月五日(土) 三〇〇―一四三〇	アクロス東五階
第四回	マネジメント思想の進化③ ―古代ギリシャ・ローマから三世紀まで―	福永文美夫	久留米大学商学部教授	九月七日(金) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第四回	アジアの「産業と立地	米澤 聡士	久留米大学商学部助教授	九月八日(土) 三〇〇―一四三〇	アクロス東五階
第四回	戦争の終わり方	色摩 力夫	外交評論家	九月四日(金) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第四回	北朝鮮問題	重村 智計	拓殖大学教授 元毎日新聞論説委員	九月五日(土) 三〇〇―一四三〇	都久志会館四階 会議室四〇号四〇号
第四回	儒教の影響からみる韓国経済	櫻井 浩	久留米大学経済学部客員教授	九月五日(土) 三〇〇―一六三〇	都久志会館四階 会議室四〇号四〇号
第五回	韓半島の金融と経済 ―経済開発における金融の役割	大隈 暉	東亜大学教授 (久留米大学非常勤講師)	九月五日(土) 三〇〇―一六三〇	都久志会館四階 会議室四〇号四〇号
第五回	万葉集を読む⑥	鶴久	久留米大学客員教授	九月三日(土) 三〇〇―一四三〇	アクロス東五階
第五回	九州のエネルギー事情「石炭王国」が滅びた後は?	鈴木 岑二	久留米大学経済学部客員教授	九月六日(月) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第五回	柳川出身の藤村作博士と中国	藤村 英子	画家 故藤村作博士令嬢	九月五日(土) 三〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第五回	宗教と経済活動にみる優しい関係、厳しい関係	徳増 俣洪	久留米大学商学部教授	九月一日(月) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第五回	戦時の外相東郷茂徳	森 茂樹	久留米大学法学部助教授	九月三日(水) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第五回	台湾と中国の関係はどうなるか	張 国興	久留米大学法学部教授	九月五日(金) 三〇〇―一四三〇	アクロス東五階
第五回	医療と介護の関係―イギリスの場合―	渡辺 満	広島大学法学部教授 (久留米大学非常勤講師)	九月三日(金) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第五回	万葉集を読む⑦	鶴久	久留米大学客員教授	九月七日(土) 三〇〇―一四三〇	アクロス東五階
第五回	九州と近代日本の芸能	倉田 喜弘	芸能史家	九月九日(金) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階
第六回	韓・日文化の同質性と異質性	朴 光淳	久留米大学経済学部教授	九月七日(土) 五〇〇―一六三〇	アクロス東五階

大家教授とアクロス公開講座と私（張）

第六回	華族政治家有馬頼寧とその時代	有谷三樹彦	久留米大学非常勤講師	一月三日(水)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第五回	万葉集を読む⑧	鶴久	久留米大学客員教授	一月四日(土)三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第四回	吉野作造と大正デモクラシー	藤村一郎	九州大学非常勤講師	一月三日(金)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	地域の活性化のために大学の知的財産をどう活用するか	斉藤浩	九州大学先端科学技術共同研究センター	二月六日(月)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第二回	「草の根デジタルアーカイブ」	古賀直樹	ZYOの法人シニアネット久留米理事長	二月三日(月)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第一回	テレビの描く人間像	原岡薫	久留米大学文学部助教授	二月七日(金)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第六回	ユタヤ系アメリカ文学の特徴	市川 康	久留米大学文学部教授	二月六日(金)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第七回	「バーナード・マラマッドを中心として」	大家 重夫	久留米大学文学部教授	三月三日(火)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階

二〇〇四年度 久留米大学・福岡サテライト文化講座予定表

回数	演 題	講演者	所 属	日 時	会 場
第一回	「オウムとの闘い」―危機管理の立場から	井上 幸彦	元警視總監	五月二日(月)五〇〇〜	福岡ガーデンパレス
第二回	韓国経済の先導者―三星グループ強さの秘密	櫻井 浩	久留米大学経済学部特任教授	五月五日(土)五〇〇〜	アクロス東五階
第三回	高齢者の知的低下予防と生き方	原岡 一馬	久留米大学文学部特任教授	六月一日(火)五〇〇〜	アクロス東五階
第四回	韓国人の対米観	朴 光淳	久留米大学経済学部教授	六月二日(水)五〇〇〜	アクロス東五階
第五回	イラク戦争後の国際情勢	中川原徳仁	久留米大学法学部特任教授	六月四日(金)五〇〇〜	アクロス東五階
第六回	アラスカ・垂直と水平の旅	栗秋 正寿	山の旅人(登山家)	六月五日(土)五〇〇〜	アクロス東五階
第七回	挿絵で見る大正昭和の少年・少女文化 第二回	白石 義郎	久留米大学文学部教授	六月三日(土)三〇〇〜	アクロス東五階
第八回	万葉集を読む 第一回	鶴久	久留米大学客員教授	六月七日(木)五〇〇〜	アクロス東五階
第九回	挿絵で見る昭和の少年・少女文化 第二回	白石 義郎	久留米大学文学部教授	六月七日(木)五〇〇〜	アクロス東五階
第十回	「変化の時代」の経営マインド	福地 茂雄	(株)アサヒビル会長	六月六日(金)五〇〇〜	西鉄グランドホテル
第一回	人を元気にする学問―健康心理学入門 第一回	津田 彰	久留米大学文学部教授	六月二日(木)三〇〇〜	アクロス東五階
第二回	挿絵で見る昭和の少年・少女文化 第三回	白石 義郎	久留米大学文学部教授	六月二日(木)三〇〇〜	アクロス東五階
第三回	万葉集を読む 第二回	鶴久	久留米大学客員教授	六月五日(土)三〇〇〜	アクロス東五階
第四回	挿絵で見る昭和の少年・少女文化 第四回	白石 義郎	久留米大学文学部教授	七月一日(木)五〇〇〜	アクロス東五階
第五回	万葉集を読む 第三回	鶴久	久留米大学客員教授	七月三日(土)三〇〇〜	アクロス東五階
第六回	ストレスとの上手な付き合い方 ―健康心理学入門 第二回	津田 彰	久留米大学文学部教授	七月八日(木)三〇〇〜	アクロス東五階
第七回	男女共同参画、地方の試み	三隅 佳子	(財)アジア女性交流研究 フォーラム理事長	七月二日(土)三〇〇〜	アクロス東五階

資料

第二八回	男女共同参画 —女性のチャレンジは、男性の元氣、社会の活氣—	久保 真季	内閣府男女共同参画局推進課長	七月二日(土) 五〇〇〇	アクロス東五階
第二九回	知的財産の会計と報告 —特許権やブランドを金額で測る方法—	金田堅太郎	久留米大学商学部講師	七月五日(木) 三〇〇〇	アクロス東五階
第三〇回	地域高齢化と福祉コミュニティづくり	保坂恵美子	久留米大学文学部教授	七月七日(土) 三〇〇〇	アクロス東五階
第三一回	高齢化社会と小地域福祉活動	松尾誠治郎	久留米大学文学部助教授	七月三日(金) 五〇〇〇	アクロス東五階
第三二回	欧州統合の現在	児玉 昌巳	久留米大学法学部教授	七月三日(金) 五〇〇〇	アクロス東五階
第三三回	高齢者の医療・福祉・生活	小原真知子	久留米大学文学部講師	七月四日(土) 五〇〇〇	アクロス東五階
第三四回	よりよい生き方への支援—健康心理学入門 第三回	津田 彰	久留米大学文学部教授	七月五日(木) 三〇〇〇	アクロス東五階
第三五回	高齢社会と都市農村交流	西川 芳昭	久留米大学経済学部教授	七月三日(土) 三〇〇〇	アクロス東五階
第三六回	タウンモビリティのまちづくり	松尾 匡	久留米大学経済学部教授	七月三日(土) 三〇〇〇	アクロス東五階
第三七回	團伊玖磨と久留米	中野 政則	元プリヂストン	八月二日(月) 五〇〇〇	アクロス東五階
第三八回	戦争と国際刑事法	安藤 泰子	青山学院大学法学部助教授 ・久留米大学非常勤講師	八月五日(木) 五〇〇〇	アクロス東五階
第三九回	高齢社会とNPOの活動	伊佐 淳	久留米大学経済学部教授	八月七日(土) 五〇〇〇	アクロス東五階
第四〇回	西郷隆盛は征韓論者か—明治六年政変の謎を解く—	毛利 敏彦	大阪市立大名誉教授	八月二日(水) 五〇〇〇	アクロス東五階
第四一回	万葉集を読む 第四回	鶴 久	久留米大学客員教授	八月二日(水) 五〇〇〇	アクロス東五階
第四二回	前原一誠(萩の乱)と佐賀の乱 —県令中野梧一の日記を中心に—	杉谷 昭	佐賀大名誉教授	八月二日(金) 五〇〇〇	アクロス東五階
第四三回	久留米のドイツ人捕虜収容所	堤 諭吉	久留米市文化財保護課課長補佐	八月三日(月) 五〇〇〇	アクロス東五階
第四四回	日中友好関係について—経済の相互補完	王 昆	駐長崎中華人民共和国総領事館総領事	八月七日(金) 五〇〇〇	アクロス東五階
第四五回	万葉集を読む 第五回	鶴 久	久留米大学客員教授	八月六日(土) 三〇〇〇	アクロス東五階
第四六回	日本の文化行政	寺脇 研	文化庁文化部長	九月二日(金) 五〇〇〇	西鉄グランドホテル
第四七回	万葉集を読む 第六回	鶴 久	久留米大学客員教授	九月二日(土) 三〇〇〇	アクロス東五階
第四八回	人権の父・江藤新平	毛利 敏彦	大阪市立大名誉教授	九月三日(月) 五〇〇〇	アクロス東五階
第四九回	七年の留学生生活から見た英国の政党と政治	齋藤健太郎	京都産業大学経済学部専任講師	九月七日(金) 五〇〇〇	アクロス東五階
第五〇回	「時間」について考えよう —制度策定における日・英・米の格差—	徳増 俣洪	久留米大学商学部教授	九月六日(土) 五〇〇〇	アクロス東五階
第五一回	芸能史の中の九州	倉田 喜弘	芸能史家	九月四日(金) 五〇〇〇	アクロス東五階
第五二回	万葉集を読む 第七回	鶴 久	久留米大学客員教授	九月五日(土) 三〇〇〇	アクロス東五階
第五三回	ファミリィ・リスク・マネイジメント	金玲(ジン・ロン)	久留米大学商学部助教授	九月四日(月) 五〇〇〇	アクロス東五階
第五四回	諫早湾干拓をこう考える	関家 敏正	文化財保存佐賀県協議会事務局長	九月五日(金) 五〇〇〇	アクロス東五階
第五五回	対テロ戦争の行方	色摩(シカマ)力夫	外交評論家・元チリ大使	九月六日(土) 五〇〇〇	アクロス東五階
第五六回	天草の豪商・石本平兵衛伝	河村 哲夫	歴史研究家・福岡アクロス管理部長	九月六日(土) 五〇〇〇	アクロス東五階

大家教授とアクロス公開講座と私 (張)

第七回	佐多稲子と「戦争」	江頭 肇 (松原新一)	久留米大学文学部教授・文芸評論家	二月一日(月)五:〇〇	アクロス東五階
第八回	日本は外国人をどう受け入れるべきか	黒木 忠正	元内閣審議官 元法務省東京入国管理局長	二月五日(金)五:〇〇	アクロス東五階
第九回	米国とメキシコの不法移民問題ーメキシコ滞在三〇年	小川 孟(タケシ)	メキシコ国立大学材料研究所教授	二月三日(土)五:〇〇	アクロス東五階
第十回	博物館・美術館二〇〇四年秋の企画展から	森 醇一朗	久留米大客員教授 元名護屋城博物館長	二月九日(金)五:〇〇	アクロス東五階
第十一回	民事裁判と刑事裁判	川畑 耕平	前・福岡高裁判事、 久留米大法科大学院教授	三月三日(金)五:〇〇	アクロス東五階
第十二回	文化種類学・ラーメン篇	奥山 忠政	文化種類学研究者	三月四日(土)五:〇〇	アクロス東五階
第十三回	五稜郭で没した小郡出身の幕臣、古屋佐久佐衛門 (高松凌雲実兄)の生涯	高松 基助	久留米大学法学部教授	三月〇日(金)五:〇〇	アクロス東五階
第十四回	ロシアとの科学交流	岬 暁夫	埼玉大学名誉教授	三月二日(土)五:〇〇	アクロス東五階
第十五回	企業戦士のイラク・バグダッド生活ー中近東二〇年	中村 勝年	元清水建設	三月七日(金)五:〇〇	アクロス東五階
第十六回	磐井の乱をこう考える	兼川 晋	元テレビ西日本プロデューサー 古代史研究者	一月八日(土)五:〇〇	アクロス東五階
第十七回	文化経済学とはどんな学問か	森 正直	久留米大学経済学部特任教授	一月五日(土)五:〇〇	アクロス東五階
第十八回	高等教育の質はどうしたら上げられるか	糟谷 正彦	教育評論家・元大阪大学事務局長	一月三日(土)三:〇〇	アクロス東五階
第十九回	米国連邦政府の研究開発助成の状況	久保 真季	前・米科学財団フェロー	一月三日(土)五:〇〇	アクロス東五階
第二十回	国際社会のつながり:多国籍企業の役割	大東和武司	久留米大学非常勤講師・広島市大教授	二月五日(土)五:〇〇	アクロス東五階
第二一回	会社法はどう変わるか	和田 宗久	神奈川大学法学部専任講師	二月八日(金)五:〇〇	アクロス東五階

二〇〇五年度 久留米大学・福岡サテライト文化講座予定表

演 題	講演者	所 属	日 時	会 場
第一回 次代の国民へー国会議員生活四〇年ー	奥野 誠亮	元・文相、 (財)アジア福祉教育財団理事長	五月二四日(土)三:〇〇ー一六:三〇	福岡ガーデンパレス (終了後、講師を囲 んだのパーティ)
第二回 憲法とその基底文化について	奥平 康弘	東大名誉教授	五月九日(木)三:〇〇ー一六:三〇	福岡ガーデンパレス (終了後、講師を囲 んだのパーティ)
第三回 ①高齢化社会における男女の生き方・働き方	保坂恵美子	久留米大学文学部教授	五月三日(土)三:〇〇ー一四:三〇	アクロス東五階
第四回 ②社会の変化と男性が直面する諸問題	多賀 太	久留米大学文学部助教授	五月三日(土)四:四〇ー一六:三〇	アクロス東五階
第五回 西村茂樹と日本道徳論	鈴木 勲	元・文化庁長官、日本弘道会会長	五月六日(木)三:〇〇ー一六:三〇	福岡ガーデンパレス (終了後、講師を囲 んだのパーティ)

資料

第六回	ギターと共に楽しむ一葉文学①「たけくらべ」	狩野 啓子 松下 隆二	久留米大学文学部教授 ギター演奏家	五月七日(金)八〇〇〜一〇〇〇	※赤煉瓦文化館 「共催・福岡市文化館」
第七回	③性別分業の経済的意味とその解消	松尾 匡	久留米大学経済学部教授	五月六日(土)三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第八回	④女性の進出は日本の企業組織をゆさぶっているか	徳増 俣洪	久留米大学大学院ビジネス研究科科長	五月六日(土)四〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第九回	万葉集が訴えるもの―巻一・五番歌について	鶴岡 泰生	元・三井三池製作所常務	五月三日(月)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第二〇回	九州国立博物館の開館にあたって	三輪 嘉六	九州国立博物館準備室長	六月一日(水)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第二回	大正時代のアジア観―吉野作造を中心に	尾崎 護	元・大蔵事務次官、 矢崎科学技術振興記念財団理事長	六月二日(木)五〇〇〜六〇〇	福岡ガーデンパレス (終了後、講師を囲んでのパーティー)
第三回	福地櫻痴の魅力	倉田 喜弘	芸能史家	六月三日(金)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	⑤「男女共同参画社会基本法」にいう「男女共同参画社会」とはどのような社会か	吉村 眸	久留米大学法学部教授	六月四日(土)三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第五回	⑥夫婦・親子：相続の法における性差と平等化の方向	松嶋 道夫	久留米大学法科大学院教授	六月四日(土)四〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第六回	⑦女性と仕事と経済学	大矢野栄次	久留米大学経済学部教授	六月二日(土)三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第七回	⑧イスラム世界における女性の地位と役割	古賀 幸久	久留米大学法学部助教授	六月二日(土)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第八回	⑨バングラデيشュにおける学歴社会の到来と農村女性の進路	中川原徳仁 日下部達哉	久留米大学法学部特任教授 日本学術振興会特別研究員	六月三日(月)五〇〇〜六〇〇 六月六日(土)三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階 アクロス東五階
第九回	⑩子育てライフに「夢」をもてる社会を	佐々木美智子	中村学園大学助教授	六月八日(土)四〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三〇回	景行天皇の足跡―古代史を歩く	河村 哲夫	歴史研究家	六月四日(金)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	万葉集を読む 第一回	鶴 久	久留米大学客員教授	六月五日(土)三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第三回	アメリカの経済発展はアメリカ文学にどう影響したか―憧憬、批判、そして自立―	徳増 俣洪	久留米大学大学院ビジネス研究科科長	六月五日(土)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	⑪ロシア女性の歴史	富永 桂子	久留米大学非常勤講師	七月二日(土)三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第二回	ガス事業の現状について	小川 弘毅	西部ガス社長	七月七日(木)四〇〇〜五〇〇	福岡ガーデンパレス (終了後、講師を囲んでのパーティー)
第五回	ロボット産業の現状―製造用ロボットの進化	利島 康司	安川電機社長	七月七日(木)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第六回	法文化の東西	石川 真人	久留米大学法学部助教授	七月八日(金)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第七回	最近の韓国経済	櫻井 浩	久留米大学客員教授	七月九日(土)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第八回	韓国で今何が起きているか	古野 喜政	元・毎日新聞ソウル支局長	七月五日(金)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第九回	国立大学法人は成功したか	糟谷 正彦	教育評論家・元大阪大学事務局長	七月三日(金)五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三〇回	ギターと共に楽しむ一葉文学②「にこりえ」	狩野 啓子 松下 隆二	久留米大学文学部教授 ギター演奏家	七月三日(金)八〇〇〜一〇〇〇	※赤煉瓦文化館 「共催・福岡市文化館」

大家教授とアクロス公開講座と私 (張)

第三回	万葉集を読む 第二回	鶴 久	久留米大学客員教授	七月三日(土) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第三回	九州の作家―林京子の文学―	江頭 肇 (松原新一)	久留米大学文学部教授・文芸評論家	八月九日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	万葉集を読む 第三回	鶴 久	久留米大学客員教授	八月〇日(土) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第三回	ヒットラーのオーストリア革命	中川原徳仁	久留米大学法学部特任教授	八月三日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	一宗教法人の解散命令と旧オウム教信者	西牧 駒蔵	大阪経済法科大学教授	九月三日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	ドイツにおける「日本研究」の歴史と現状(日本語)	E・パウアー	マールブルグ大学教授 ・日本研究センター副所長	九月三日(月) 五〇〇〜六〇〇	福岡ガーデンパレス (終了後、講師を囲 んでのパーティー)
第三回	柳川出身の同志社八代総長 海老名弾正	柏原 正憲	前・杉森女子高校校長	九月〇日(火) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	万葉集を読む 第四回	鶴 久	久留米大学客員教授	九月四日(土) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第三回	イギリス政治の現在	齋藤健太郎	京都産業大学経済学部講師	九月四日(土) 五〇〇〜七〇〇	アクロス東五階
第三回	日中提携論の諸相―吉野作造を中心に―	藤村 一郎	久留米大学非常勤講師	九月三日(月) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	最新欧州統合事情 ―トルコ四〇加盟問題、欧州憲法条約など	児玉 昌己	久留米大学法学部教授	九月四日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	その後のブッシュ政権	中川原徳仁	久留米大学法学部特任教授	九月七日(月) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第三回	ギターと共に楽しむ一葉文学③「十三夜」	狩野 啓子 松下 隆二	久留米大学文学部教授 ギター演奏家	九月二日(金) 八〇〇〜一〇〇〇	※赤煉瓦文化館 ―共催・福岡市文化 館―
第四回	万葉集を読む 第五回	鶴 久	久留米大学客員教授	九月五日(土) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第四回	暗黒伝説―スペインの先例	色摩(シカマ)力夫	元チリ大使・外交評論家	九月二日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	身近な国際交流―日本語ボランティア	占部匡(マサ)美	久留米大学非常勤講師 ・ヒューマンアカデミー講師	九月三日(土) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	日本の入国管理法の特徴	黒木 忠正	元内閣審議官 ・元法務省東京入国管理局局長	九月六日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	「島田芳文の青春時代」 ―豊前市出身の「丘を越えて」の作詞家	松井 義弘	豊前市立図書館長	九月五日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	万葉集を読む 第六回	鶴 久	久留米大学客員教授	九月六日(土) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第四回	横井小楠―熊本藩は何故彼を用いなかったのか	植原 孝俊	久留米大学非常勤講師	九月二日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	政治学者具島兼三郎と私	中川原徳仁	久留米大学法学部特任教授	九月五日(月) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	北九州の演劇と地域文化	井生 定巳	北九州劇団青春座代表	九月七日(水) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	「魚介類の再生産」を研究して―水産学と私	松浦 修平	九大名誉教授・前都城高専校長	九月六日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	万葉集を読む 第七回	鶴 久	久留米大学客員教授	九月七日(土) 三〇〇〜四〇〇	アクロス東五階
第四回	西洋社会は中東社会を理解しているか	古賀 幸久	久留米大学法学部助教授	九月六日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	薬と特許権	高橋 哲郎	久留米大学学長特命教授	九月三日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階
第四回	新エネルギー時代への展望	鈴木 岑二	久留米大学経済学部客員教授	九月〇日(金) 五〇〇〜六〇〇	アクロス東五階

資料

第五回	ギターと共に楽しむ一葉文学④「雪の日」	狩野 啓子 松下 隆二	久留米大学文学部教授 ギター演奏家	一月七日(金)八:〇〇〜二:〇〇	※赤煉瓦文化館 「共催・福岡市文化館」
第六回	万葉集を読む 第八回	鶴 久	久留米大学客員教授	一月八日(土)三:〇〇〜四:三〇	アクロス東五階
第七回	算術大名久留米藩主有馬頼信(ヨリユキ)	河村 哲夫	歴史研究家	二月〇日(金)五:〇〇〜六:三〇	アクロス東五階
第八回	真崎甚三郎は二・二六事件の黒幕か	徳永 武将	久留米大学大学院比較文化研究員	二月七日(金)五:〇〇〜六:三〇	アクロス東五階
第九回	万葉集を読む 第九回	鶴 久	久留米大学客員教授	二月五日(土)三:〇〇〜四:三〇	アクロス東五階
第十回	ウクライナは何処へ?	阿部三樹夫	久留米大学法学部助教授	三月一日(水)五:〇〇〜六:三〇	アクロス東五階
第十一回	エリート教育の必要性と可能性	糟谷 正彦	教育評論家・元大阪大学事務局長	三月三日(金)五:〇〇〜六:三〇	アクロス東五階
第十二回	旅行会社の現状と課題	松尾 朝子	(株)甘木ツーリスト部長	三月〇日(金)五:〇〇〜六:三〇	アクロス東五階
第十三回	万葉集を読む 第一〇回	鶴 久	久留米大学客員教授	三月五日(土)三:〇〇〜四:三〇	アクロス東五階

二〇〇六年度 久留米大学・福岡サテライト文化講座予定表

演 題	講演者	所 属	日 時	会 場
第一回 日本の再生を考える	西尾 幹二	評論家、電気通信大名管教授	五月七日(日)五:〇〇〜六:三〇	福岡ガーデンパレス
第二回 女帝問題を考える	奥平 康弘	東京大学名誉教授	五月八日(月)五:〇〇〜六:三〇	福岡ガーデンパレス
第三回 法科大学院シリーズ① 個人情報保護法について	小原 清信	久留米大学法科大学院教授	五月三日(土)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト
第四回 自信喪失の時代、新聞から世界が見える	加藤 信夫	毎日新聞西部本社編集局長	五月五日(月)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト
第五回 日本の財政は大丈夫か	尾崎 護	矢崎科学技術振興記念財団理事長、元・大蔵事務次官	五月八日(木)五:〇〇〜六:三〇	福岡ガーデンパレス
第六回 法科大学院シリーズ② 企業買収について	楠元純一郎	久留米大学法科大学院教授	五月〇日(土)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト
第七回 ギターと共に楽しむ一葉文学	狩野 啓子 松下 隆二	久留米大学文学部教授 ギター演奏家	五月五日(金)八:〇〇〜二:〇〇	福岡サテライト
第八回 法科大学院シリーズ③ 裁判員制度について	内田 省司	久留米大学法科大学院教授	五月七日(土)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト
第九回 血の通った法について	上村 一則	久留米大学法学部助教授	五月五日(月)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト
第十回 法科大学院シリーズ④ 環境訴訟の課題 ―水俣病と諫早湾干拓をテーマに―	馬奈木昭雄	久留米大学法科大学院教授	六月三日(土)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト
第二回 法科大学院シリーズ⑤ 市民社会の法理と公権力の行使	松本 佳郎	久留米大学法科大学院教授	六月〇日(土)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト
第三回 中国の知的財産権侵害問題	日高 賢治	弁護士、元・特許庁審査官	六月六日(金)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト
第四回 万葉集 第一回	鶴 久	久留米大学客員教授	六月七日(土)三:〇〇〜四:三〇	福岡サテライト
第五回 京都の「京都」について ―京都郡に九州王朝はあったか	兼川 晋	古代史研究家	六月三日(金)五:〇〇〜六:三〇	福岡サテライト

大家教授とアクロス公開講座と私 (張)

第五回	日本にとってマルクス主義とは何だったのか	稲葉振一郎	明治学院大学社会学部教授	六月四日(土) 三〇〇〜四三〇	福岡サテライト
第六回	日本にとってマルクス経済学とは何だったのか	松尾 匡	久留米大学経済学部教授	六月四日(土) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第七回	経済発展と企業倫理―日本という特殊土壌を考える	徳増 俣洪	久留米大学大学院ビジネス研究科科长	七月一日(土) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第八回	巴(こ)と北朝鮮	児玉 昌巳	久留米大学法学部教授	七月七日(金) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第九回	万葉集 第二回	鶴 久	久留米大学客員教授	七月八日(土) 三〇〇〜四三〇	福岡サテライト
第十回	電気事業の現状―自由化への対応	佐藤 光昭	九電副社長	七月十四日(金) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第十一回	家族と法	石川 真人	久留米大学法学部助教授	七月十五日(土) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第十二回	教育改革の焦点―教員養成はどうあるべきか	糟谷 正彦	教育評論家・元大阪大学事務局長	七月三日(金) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第十三回	アフガニスタンと日本の和平復興支援	宮原 信孝	久留米大学文学部助教授、 元・外務省中東第二課長、 元・在アフガニスタン大使館公使	七月七日(木) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第十四回	ギターと共に楽しむ一葉文学	狩野 啓子 松下 隆二	久留米大学文学部教授 ギター演奏家	七月六日(金) 二八〇〜三〇〇	福岡サテライト
第十五回	日中関係をどう見るか	中川原徳仁	久留米大学特任教授	七月三日(月) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第十六回	ゼミ生からみた国際法学者 安井郁―原水禁運動の先頭に立った人	柏原 正憲	前・杉森女子高校校長	八月四日(金) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第十七回	万葉集 第三回	鶴 久	久留米大学客員教授	八月五日(土) 三〇〇〜四三〇	福岡サテライト
第十八回	天然資源を通じて見た日豪の歴史	長崎 新一	前・巴(こ)(豪州鉄鉱石会社)日本代表	八月五日(金) 三〇〇〜四三〇	福岡ガーデンパレス
第十九回	日本・韓国・北朝鮮	水上洋一郎	(財)国際研修協力機構理事、 (財)日韓文化協会理事長、 元・法務省東京入管局長	八月五日(金) 二五〇〜二六〇	福岡ガーデンパレス
第二十回	万葉集 第四回	鶴 久	久留米大学客員教授	九月二日(土) 三〇〇〜四三〇	福岡サテライト
第二十一回	金大中政権の功罪	吉野 喜政	元・毎日新聞ソウル支局長	九月八日(金) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第二十二回	英国の政治と経済	斉藤健太郎	京都産業大学経済学部講師	九月三日(金) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第二十三回	ヒトラーの性格について	中川原徳仁	久留米大学特任教授	九月五日(月) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第二十四回	知的財産権判例に関する最近の動向について	帖佐 隆	久留米大学法学部教授	九月六日(木) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第二十五回	ギターと共に楽しむ一葉文学	狩野 啓子 松下 隆二	久留米大学文学部教授 ギター演奏家	九月九日(金) 二八〇〜三〇〇	福岡サテライト
第二十六回	九州・琉球の方言	崎村 弘文	久留米大学文学部教授	十月二日(月) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第二十七回	万葉集 第五回	鶴 久	久留米大学客員教授	十月七日(土) 三〇〇〜四三〇	福岡サテライト
第二十八回	九州の作家	江頭 肇	久留米大学文学部教授、文芸評論家	十月三日(金) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第二十九回	巴(こ)憲法は蘇るのか	児玉 昌巳	久留米大学法学部教授	十月六日(月) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第三十回	銀行ビジネスの新展開	塚崎 公義	久留米大学商学部助教授	十月六日(土) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト
第三十一回	九州自治州構想からみた博物館 ・美術館の機能と役割	森 醇一朗	久留米大学客員教授	二月九日(木) 二五〇〜二六〇	福岡サテライト

第四二回	平家物語①	笠	久留米大学特任教授	二月〇日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第四三回	万葉集 第六回	鶴 久	久留米大学客員教授	二月二日(土)三〇〇―一四三〇	福岡サテライト
第四四回	近代の日本外交を誤らせたもの	森 茂樹	久留米大学法学部助教授	二月七日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第四五回	歴史の表と裏―ドゴールとベタン	色魔 力夫	外交評論家、元・チリ大使	二月八日(土)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第四六回	政党の派閥的構想について	中川原徳仁	久留米大学特任教授	二月七日(月)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第四七回	平家物語②	笠 栄治	久留米大学特任教授	二月一日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第四八回	万葉集 第七回	鶴 久	久留米大学客員教授	二月二日(土)三〇〇―一四三〇	福岡サテライト
第四九回	久留米城を築城したキリシタン大名 毛利秀包について	前田 博司	郷土史家	二月八日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第五〇回	久留米大学の知的財産管理	高橋 哲郎	久留米大学学長特命教授	二月五日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第五一回	平家物語③	笠 栄治	久留米大学特任教授	一月三日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第五二回	万葉集 第八回	鶴 久	久留米大学客員教授	一月三日(土)三〇〇―一四三〇	福岡サテライト
第五三回	石橋湛山の外交論の新解釈	藤村 一郎	久留米大学非常勤講師	一月九日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第五四回	文化種類学ことはじめ	奥山 忠政	久留米大学大学院〇〇、評論家	一月六日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第五五回	インドシナ難民受入れを顧みる	黒木 忠正	元・内閣審議官、 元・法務省東京入局管理局長	二月一日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第五六回	万葉集 第九回	鶴 久	久留米大学客員教授	二月三日(土)三〇〇―一四三〇	福岡サテライト
第五七回	平家物語④	笠 栄治	久留米大学特任教授	二月九日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第五八回	ギターと共に楽しむ一葉文学	狩野 啓子	久留米大学文学部教授	二月三日(金)五〇〇―一四三〇	福岡サテライト
第五九回	平家物語⑤	笠 栄治	久留米大学文学部教授	二月三日(金)五〇〇―一四三〇	福岡サテライト
第六〇回	万葉集 第一〇回	鶴 久	久留米大学特任教授	三月二日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト
第六一回	バキスタンの政治と外交	山本 泰治	久留米大学客員教授	三月三日(土)三〇〇―一四三〇	福岡サテライト
			久留米大学〇〇、評論家	三月九日(金)五〇〇―一六三〇	福岡サテライト